



証券コード：9913

日邦産業株式会社

証券コード：9913

2026年3月期 第3四半期決算説明資料

2026年 2月 4日
代表取締役社長
岩佐 恭知

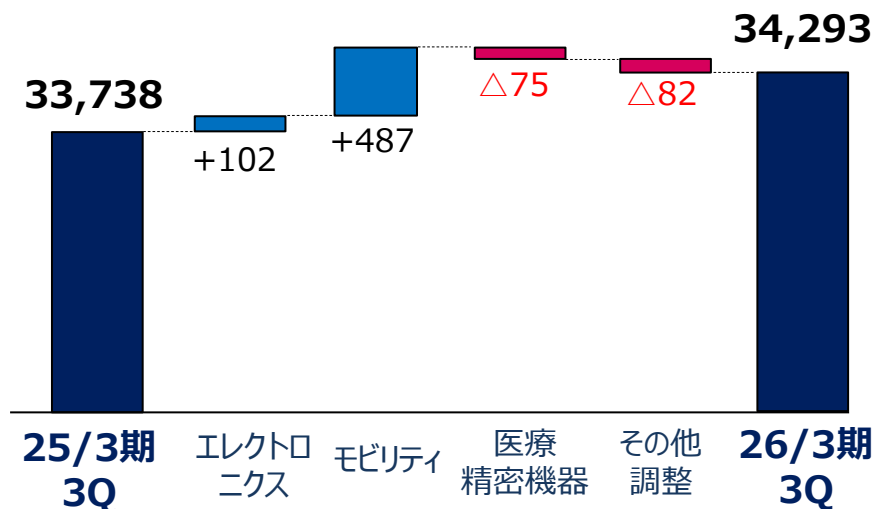
26/3期 3Q 連結業績（1）



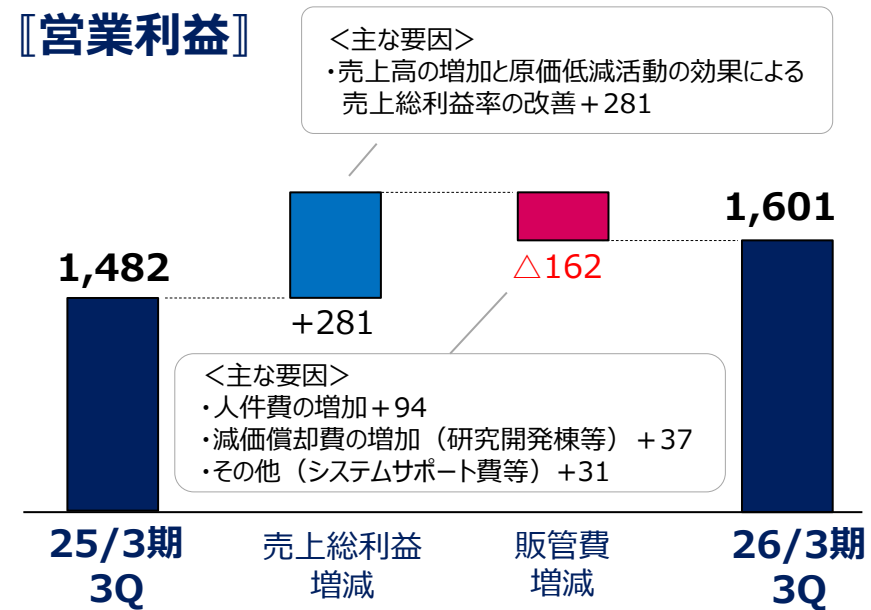
（単位：百万円）

科目	25/3期 3Q	26/3期 3Q	前年同期比	増減額
売上高	33,738	34,293	102%	+555
営業利益	1,482	1,601	108%	+119
経常利益	1,572	1,769	113%	+197
四半期純利益	1,085	1,231	113%	+146

『売上高』



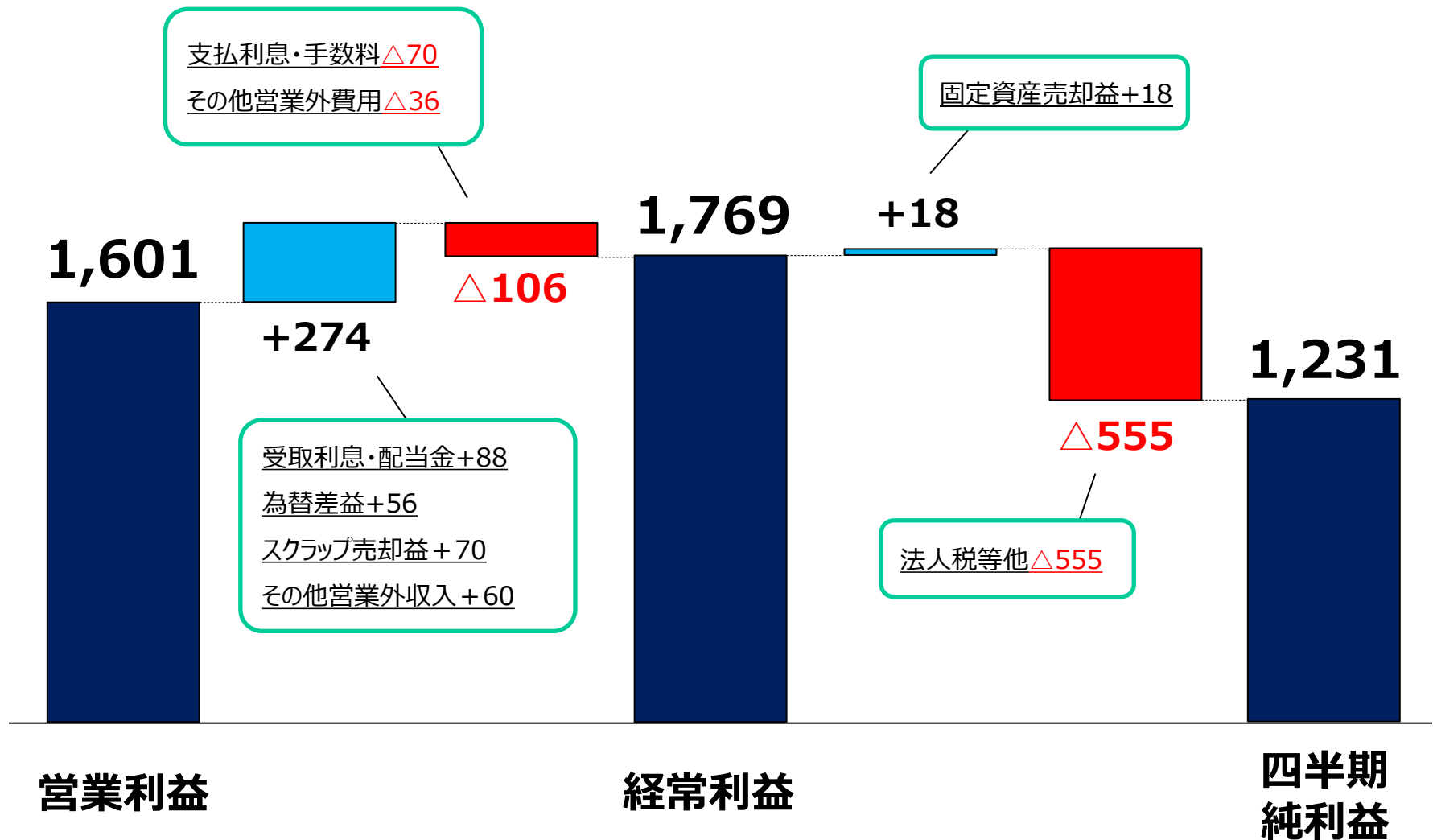
『営業利益』



26/3期 3Q 連結業績（2）



（単位：百万円）



26/3期 通期業績予想



～モビリティの収益が2Qに見直した計画よりも下振れたものの、エレクトロニクスの堅調な受注見通しと医療・精密機器の収益改善によってカバーできる見込みであることから、通期業績予想は据え置きます。～ (単位：百万円)

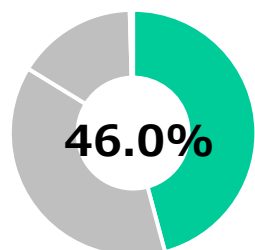
科目	26/3期 3Q	26/3期 通期見通し	3Q 進捗率	通期業績予想と年間配当金について
売上高	34,293	45,500	75.4%	1.通期業績予想 3Qの進捗としては、モビリティの営業利益が2Qに見直した計画に対して下振れたものの、医療・精密機器の収益改善によって連結業績の進捗をカバーしました。 4Q以降については、米国の通商政策による景気の下振れリスクの影響が見通すことが難しいこと等に加えて、 ①エレクトロニクス:スマートフォン関連部材の回復が見通せないこと ②モビリティ:外部環境(中国市場)の先行きが不透明なこと ③医療・精密機器:プリンター部品の顧客の生産計画変動により受注見通しが読み切れないこと という3つの懸念要素が継続して見込まれるものの、これらの影響を最小限にする活動に加え、生成AI関連の製造プロセス部材の受注が引き続き堅調に推移する見通しであること、原価低減活動の利益貢献効果が継続して見込まれること等から、2025年5月13日に公表した通期業績予想を据え置きました。
営業利益	1,601	2,000	80.0%	
経常利益	1,769	1,950	90.7%	
当期純利益	1,231	1,400	87.9%	
年間配当金	(25/3期) 1株当たり 76円	1株当たり 78円		2.年間配当予想 通期業績予想とともに、年間配当金「1株＝78円」も据え置きます。 ※本通期業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいた予想値であり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。通期業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。

セグメント別業績（エレクトロニクス）



売上高構成比

（単位：百万円）



増収

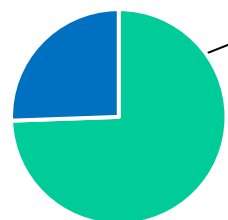
増益

	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	増減額
売上高	15,727	15,829	101%	+102
営業利益	1,239	1,292	104%	+53

3Qの業績概況

- ・ スマートフォン関連部材の受注が低調に推移したことに加え、タイ（コラート）工場のドライフィルムの受注が採算ラインに届かない中で推移した。
- ・ 一方、生成AI関連の半導体需要の下支えにより、製造プロセスで使用される機能性材料や精密加工部材の受注が堅調に推移したことにより、増収・増益となった。

売上高の進捗



3Q進捗
74.7%

	25/3期	26/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	20,838	21,200	102%	+362
営業利益	1,532	1,600	104%	+68

通期の見通し

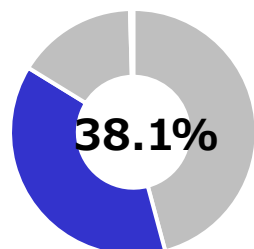
- ・ 4Q以降もスマートフォン関連部材の需要回復が先行きは不透明なものの、引き続き生成AI関連の半導体需要が下支えとなり、関連するプロセス部材の受注が堅調に推移する見込みであることから、通期業績は、上表の当初の計画を達成できる見通し。

セグメント別業績（モビリティ）



売上高構成比

（単位：百万円）



増収

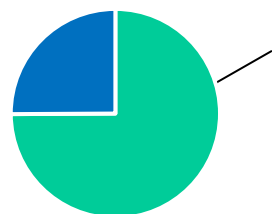
減益

	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	増減額
売上高	12,622	13,109	104%	+487
営業利益	871	841	97%	△30

3Qの業績概況

- ・ インドネシア工場の排気関連部品の受注と、量産が軌道に乗ったベトナム工場のブレーキ関連部品の受注が堅調に推移した。
- ・ 一方、中国における日系自動車メーカーの販売不振のマイナス影響と、稲沢工場の新規量産にかかる歩留まりを予定通りに良化させることができなかった影響により、増収・減益となった。

売上高の進捗



3Q進捗
74.9%

	25/3期	26/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	16,844	(2Q時計画) 17,000→ 17,500	104%	+656
営業利益	1,160	(2Q時計画) 1,250→ 1,200	103%	+40

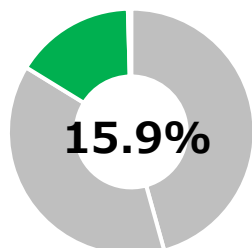
通期の見通し

- ・ 稲沢工場の新規量産にかかる歩留まりの改善効果が4Q以降に見込まれるものの、3Qまでのマイナス影響と実績を踏まえた通期業績は、売上高は175億円、営業利益は12.0億円となる見通し。

セグメント別業績（医療・精密機器）



売上高構成比



減収

増益

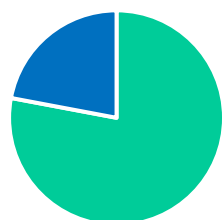
（単位：百万円）

	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	増減額
売上高	5,532	5,457	99%	△75
営業利益	316	557	176%	+241

3Qの業績概況

- ・ タイ（コラート）工場における医療機器部品の受注は堅調に推移した。
- ・ プリンター関連部品は、ベトナム工場、フィリピン工場の受注が堅調に推移したが、タイ（コラート）工場の受注が顧客の生産地変更に伴うマイナス影響を受ける中で推移した。
- ・ また、各工場で継続してきた原価低減活動の継続的効果が利益業績に大きく寄与したことにより、売上高は微減となったが、大きく増益となった。

売上高の進捗



3Q進捗
78.0%

	25/3期	26/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	7,419	(2Q時計画) 7,500 → 7,000	94%	△419
営業利益	396	(2Q時計画) 550 → 600	139%	+154

通期の見通し

- ・ タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注は、引き続き堅調に推移する見通し。
- ・ プリンター関連部品の受注は、顧客フォーキャストの先行きが不透明ではあるが、引き続き原価低減活動を継続し、収益性の改善に努めていく。
- ・ 3Qまでの実績と4Qの見込みを踏まえた通期業績は、売上高は70億円、営業利益は6.0億円となる見通し。

【参考資料】 26/3期 3Q 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目		25/3期	26/3期 3Q	増減額	科目		25/3期	26/3期 3Q	増減額
資産の部	流動資産	18,759	21,733	+2,974	負債の部	流動負債	12,220	14,685	+2,465
	現預金	6,226	7,136	+910		支払手形及び買掛金等	7,978	8,646	+668
	受取手形及び売掛金等	8,533	10,647	+2,114		短期借入金等	1,654	3,509	+1,855
	たな卸資産	3,222	3,185	△37		リース債務、割賦未払金	314	240	△74
	その他	776	762	△14		その他	2,272	2,290	+18
	固定資産	13,715	13,528	△187		固定負債	3,724	3,709	△15
	有形固定資産	9,193	9,016	△177		長期借入金	747	544	△203
	無形固定資産	483	402	△81		リース債務、長期割賦未払金	498	567	+69
	投資その他の資産	4,038	4,108	+70		その他	2,478	2,596	+118
	資産合計	32,475	35,261	+2,786		負債合計	15,945	18,395	+2,450
純資産の部	資本金	3,137	3,137	—	純資産の部	資本金	3,137	3,137	—
	資本剰余金、利益剰余金及び自己株式	9,417	9,983	+566		資本剰余金、利益剰余金及び自己株式	9,417	9,983	+566
	その他の包括利益累計額	3,973	3,743	△230		その他の包括利益累計額	3,973	3,743	△230
	非支配株主持分	1	1	+0		非支配株主持分	1	1	+0
	純資産合計	16,530	16,866	+336		純資産合計	16,530	16,866	+336
負債・純資産合計		32,475	35,261	+2,786	負債・純資産合計		32,475	35,261	+2,786

日邦産業株式会社

IR担当： 経営企画部 水口、藤浪、小清水

電話番号： 052-212-8726

ホームページ（URL）： <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありませんので、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になる恐れがあることをご認識された上でご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

なお、本業績見通しにおいては、1米ドル＝150円、1タイバーツ＝4.5円の為替換算レートで計算しております。